

会員の
ひろば

私のお薦めコーナー
『札幌の上水道と下水道を学ぶ』
—札幌市水道記念館・札幌市下水道科学館—

知本康男

1. はじめに

地震や洪水等の発災非常時の飲料水として、1人あたり3リットル×3日間の確保が推奨されています。また、札幌市では1人1日当たりの平均給水量は一般家庭では約200リットルとのこと。このような数字に触れると、蛇口から無尽蔵のごとく使用できる水道水ですが、当たり前のように供給してくれる水道インフラの仕組みを勉強したくお盆休みに足を運びました。

2. 札幌市水道記念館

水道記念館は中央区伏見4丁目の藻岩山山麓斜面に立地しており、市内を一望できる素晴らしいロケーションです(グラビア参照)。車での訪問が無難ですが、市電や路線バスを利用しても徒歩10～15分程度でアプローチできます。



写真-1 札幌市水道記念館の外観

館内には参加体験型の展示物やアトラクションがたくさんあり、上水道の仕組みと自然環境の関りについて楽しみながら学ぶことができる施設です。私が訪問した時は夏休みでしたので圧倒的に家族連れの小学生が多かった印象があります。水鉄砲コーナーは列をなしていました。コロナのためお休み中

の展示物もありますが、上水道施設の有難みを再認識させられた訪問になりました。



写真-2 レトロな展示物もいっぱい

この水道記念館は昭和12年に建造された藻岩第一浄水場の建屋をベースに改築されており、館内では当時のコンクリート構造物にも触ることができ、そのような意味からは歴史的建造物と言えます。

屋外施設として、カナル広場や噴水広場がありますが、是非見て触れて頂きたいのが「グラニットボール」です。重量約1トンの球形に加工された花崗岩が、下からの水圧(0.064MPa)で浮き上がっており、子供でも手でこのグラニットボール(石球)を簡単にクルクル回すことができます(写真-3)。動画でお観せできないのが残念ですが、まさに水圧



写真-3 屋外展示の「グラニットボール」

の威力を体感できる珠玉の展示物だと思います。また、前庭には実際に使用されていた大口径の水道管や仕切弁が陳列されており(グラビア参照)、これも(マニアには)見応えがあります。

最後に、この記念館の敷地と藻岩山ロープウェイ山麓駅を結ぶ散策路が整備されており(グラビア参照)、ちょっとしたトレッキング気分を味わうことができます。是非お勧めしますが、当然のごとく熊出没注意の赤色看板が掲示されていたので、歩く際には鳴り物の携帯をお忘れなく。

3. 札幌市下水道科学館

あたり前の発想かもしれませんが、上水道の仕組みを学んだあとは下水道も！と思って、つぎに下水道科学館に足を運びました。

下水道科学館の住所は北区麻生町8丁目で、創成川水再生プラザの敷地内の北端に位置します。車で訪問する場合は創成川通(国道231)を北上して左折して入場しますが、その左折ポイントがちょっと判り難いので看板に注意しながらゆっくりとアプローチして下さい。公共交通機関を利用する場合は、地下鉄南北線の麻生駅から徒歩15分、麻生ターミナル発の路線バスなら停留所から徒歩5分です。



写真-4 札幌市下水道科学館の外観

下水道科学館も同様に体験型のイベントが数多く企画されています。ここもメインターゲットは小学生のようですね。展示室では普段は見ることのない下水道の仕組みやそれを管理する仕事、そして汚泥処理の方法などをパネルや展示物で優しく解説してくれます。また、当館訪問者にはマンホールカードと言ってカラフルなマンホール蓋の絵図を表示したカードが貰えます。受付のお姉さんに声を掛けて下

さい。



写真-5 大口径下水道管を用いたトンネル展示物

私からのいち推し展示物として、エレベータで地下4階まで下った部屋から、実際に稼働している雨水貯留管の様子を見ることができます。雨の日に見学に行くと凄いのではないでしょうか？ただし、私が訪問した日はコロナ感染予防のため地下4階施設は非公開でした(残念!)。でも、ちゃんと2階展示場でライブ映像が流れていました。

やはり家族連れが多かったのですが、明らかに涼みに訪館していると思われる高齢者の方々も居られたように私の目には見えました。これもこの類の公共施設の重要なロールのひとつと感じた次第です。

4. おわりに

今回は札幌市内の二つの水道関連施設を紹介させて頂きました。両館をじっくり攻めても1日あればゆったりと巡れると思います。読者の皆様も是非足を運ばれては如何でしょう。

ちょっとネットで調べると、札幌市内には●●博物館、●●資料館、●●記念館、●●センター、●●郷土館等々、かなりの数の教育文化施設が存在しています。この秋は未訪問の施設を片っ端から踏破したいと考えています。

最後になりますが、本コーナーへの会員の皆様からの投稿を絶賛募集中です。宜しくお願い致します。

知本康男(ちもと やすお)

技術士(建設/応用理学/総合技術監理部門)
基礎地盤コンサルタンツ(株) 北海道支社

